

## ◆国際大学交流セミナー「持続可能社会を志向する先端科学技術に関する日越学生交流セミナー」

主催団体：大阪大学

共催団体：独立行政法人日本学生支援機構

開催日時：平成一八年一〇月一八日（土）～十一月五日（日）

大阪大学大学院基礎工学研究科は、学術交流協定を締結しているベトナム科学技術アカデミー物質科学研究所とベトナム国立大学ハノイ校から学生一五名、引率教員五名を迎え、「持続可能社会を志向する先端科学技術に関する日越学生交流セミナー」を開催した。

このセミナーでは、基礎工学研究科の教授陣による持続可能社会を志向する先端科学技術に関する講義を受けながら、ベトナム及び日本人学生合わせて三二名が、毎日講義内容について、班別討議し理解を深め合いながら、内容をまとめて口頭発表した。

また、セミナー最終日には第三回日越学生科学交流会議（神戸大学）に参加し、ポスター発表を行った。

## ◆国際大学交流セミナー「日中韓大学生による東アジア共生への提言」

主催団体：山口大学



「日中韓大学生による東アジア共生への提言」のセミナー風景

共催団体：独立行政法人日本学生支援機構

開催日時：平成一八年一月二日（木）～九日（木）

山口大学は、学術交流協定を締結している韓国・公州大学、中国・山東大学から学生各五名、引率者各一名を迎え、「日中韓大学生による東アジア共生への提言」を開催した。

このセミナーでは、参加者によるプレゼンテーションを行い、更に、小グループに分かれての議論の機会を設け、参加した学生が三国間の歴史的な関係、将来の三国関係のあり方など、多様な話題について活発な議論を行った。

◆平成一八年度全国学生指導研究会

主 催：独立行政法人日本学生支援機構  
 協 力：文部科学省、全国学生指導研究会連合会、国立大  
 学法人琉球大学  
 開催日時：平成一八年一月二七日(月)～二九日(水)  
 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
 参加機関数：二四九機関  
 参加人数：三三三三名

この研究会は、学生指導に関する研究成果の発表と参加者相互の研究討議を通じて、学生指導業務の改善と発展の方策について研究することを目的とするもので、全国の国公立大学・高等専門学校において学生指導関係の業務又は研究に従事している教職員が参加した。

初日は開会式の後、『大学における統治・統制・遵奉』と題して東京工業大学監事富浦梓氏の講演を行い、その後「学生相談」「キャリア支援」「修学支援」「正課外活動」の四領域一

八分科会に分かれ、必須テーマである『大学等の危機管理について』の協議が行われた。

二日目は全日を通して分科会協議を行い、各領域テーマの問題点・課題について活発な協議が展開された。

三日目は、琉球大学の平良初男理事・副学長の議事進行により分科会報告・全体会議が行われ、各領域を代表する四名の座長の分科会報告に対して質疑応答が行われた。

各領域の協議テーマ

〔学生相談〕

- ・カウンセリングマインドの醸成に関する実施状況について
- ・学生相談機関との連携、機能のあり方、全学的な取り組みの現状について

〔キャリア支援〕

- ・キャリア支援の実状について
- ・キャリア教育に関するカリキュラムデザインのあり方について

〔インターンシップのあり方について〕

〔修学支援〕

- ・教育に関する各種評価のあり方について
- ・大学等におけるカリキュラムのあり方について
- ・補修授業の実施状況について

〔正課外活動〕

◆学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議の集い

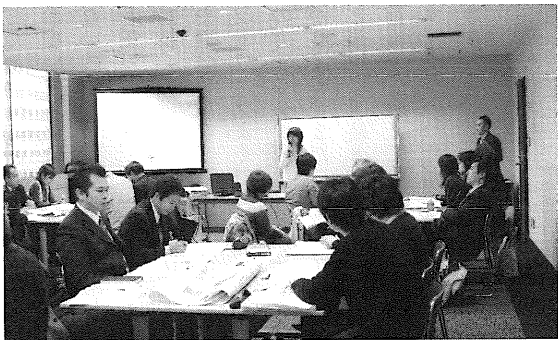
主催団体：独立行政法人日本学生支援機構  
 協力団体：文部科学省  
 開催日時：平成一八年二月八日(金)一〇時三〇分～一七時  
 会 場：日本学生支援機構東京国際交流館プラザ平成(お台場)

参加機関数：大学・短期大学・高等専門学校 一一六校  
 ボランティア団体等 一五団体  
 参加者人数：一九二名

全国の大学や関係団体等の連携・協力を推進し、学生のボランティア活動を奨励することを目的として、平成一八年度「学生ボランティア活動支援・促進のための連絡協議の集い」が開催された。

第一部全体会では、文部科学省生涯学習政策局社会教育課の出口寿久ボランティア活動推進専門官による講演「文部科学省におけるボランティア活動の推進について」が行われた。

続いて、富江伸治日本学生支援機構客員研究員の司会で、村山史世麻布大学環境保健学部講師、足立陽子立命館大学ボランティアセンターボランティアコーディネーター、大阪大学人間科学部四年生宮本匠氏の三名によるパネルディスカッション「学生が主役」のボランティア活動をサポートする」が行われた。



第二部の分科会で事例発表をする参加者

第二部分科会では、①学生部職員のためのボランティア入門、②ボランティアセンターのつくりかた、③実践的ボランティアコーディネーション術、④大学の授業におけるボランティア体験学習の可能性、⑤学生が結ぶボランティアネットワークワーキング、をテーマとする五つの分科会に分かれ、事例紹介やワークショップ形式による討議等が行われた。